



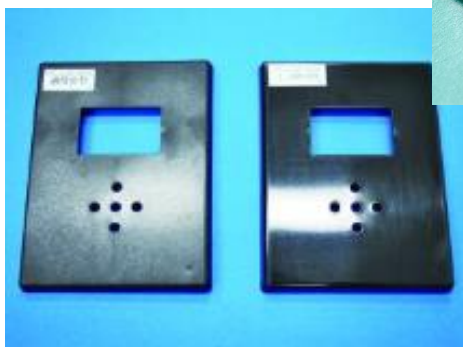
ロイヤルエンジニアリング株式会社

2019年度 環境経営レポート

E.S.スプルーブッシュ 特許第5124743号取得
千葉県ものづくり製品第120号認定品



(2019年1月～2019年12月)
文書番号：RE-00



作成 2020年 5月 29日

改訂 2020年 7月 30日

承認者	確認者	作成者
川上	渡邊	末次

代 表 者

川 上 浩 司



〔 目次 〕

1. 組織の概要
2. 認証・登録の対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営システム組織図
5. 環境負荷の年間実績推移
6. 環境経営目標及び実績
 - 1) 中期環境経営目標
 - 2) 環境経営目標の実績
7. 環境経営計画の取組結果と評価
 - 1) 二酸化炭素排出量削減(節電)
 - 2) 二酸化炭素排出量削減(燃料)
 - 3) 再生プラ量削減
 - 4) 廃棄物排出量削減
 - 5) 水道水の削減 ※2015年より経過観察中
 - 6) グリーン調達
 - 7) 環境配慮の製品の提案 ※2019年よりEA21項目より削除
8. 次年度の取組内容
9. 環境関連法規等遵守状況
10. 代表者による評価及び見直し



1. 組織の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
ロイアルエンジニアリング株式会社
代表取締役会長 萩谷 忠昭
代表取締役社長 川上 浩司



- (2) 所在地
① 本社：千葉県我孫子市天王台3-3-5
② 事業所（別館）：千葉県我孫子市天王台3-2-21
③ ロイアル館（研究所）：千葉県我孫子市天王台3-2-5

- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
責任者 末次 藍
TEL 04-7183-6100

- (4) 事業の規模

活動規模	単位	2018年	2019年	比較
生産量	kg	9.06	7.59	83.8%
売上高	百万円	442	448	101.4%
従業員	人	19	19	100.0%
床面積	m ²	480	480	100.0%

床面積（本社）314.35（営業所）99.36（研究所）66.79 [単位：m²]
人員（本社）18（営業所）1 [単位：人]

- (5) 事業年度
10月から翌9月

- (6) 事業内容
・プラスチック精密部品製作
・精密亜鉛及びアルミダイカスト製作
・注型、樹脂加工、金属加工
・試作品の設計製作
・金型及び成形に関するコンサルティング
・「E.S.スプルーブッシュ（2012年9月18日特許取得済み）」及び
「ecoワールドレス金型」の製作販売

2. 認証・登録の対象範囲

認証・登録番号：0005780
認証・登録年月日：2010/09/16

認証・登録事業者名：ロイアルエンジニアリング株式会社

対象事業所名：本社・工場、営業所（別館）、研究所（ロイアル館）

所在地：千葉県我孫子市天王台3-3-5

事業活動内容：精密プラスチック部品の成形及び金型製作、注型・樹脂加工・金属加工試作品の設計製作

3. 環境経営方針

ロイヤルエンジニアリング株式会社

環境経営方針

環境理念

ロイヤルエンジニアリング株式会社は美しくかけがえない地球を子々孫々まで残すためにはどうしたらよいかを常に考え、そして自然の摂理に即した仕事を通して社員全員が今自分達にできることに一つ一つ取り組んで行きます。

行動方針

1. 事業活動を通じて省エネルギー・省資源の推進をはかる。
2. 事業活動によって生じる廃棄物の削減及びリサイクルに取り組む。
3. 環境や省資源に配慮した製品の購入を心懸ける。
4. 環境や省資源に配慮した製品を顧客に提案する。
5. 環境関連の法規制及び協定等を遵守する。
6. お客様の要求事項を的確に把握し遵守する。
7. 全従業員にこの環境経営方針を周知させ、環境に関する教育訓練を行うと共に社外に公表する。
8. 環境保全に対する目標を定めそれに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行う。



制定日 2010年 9月16日

改定日 2019年12月10日

ロイヤルエンジニアリング株式会社

川 上 浩 司

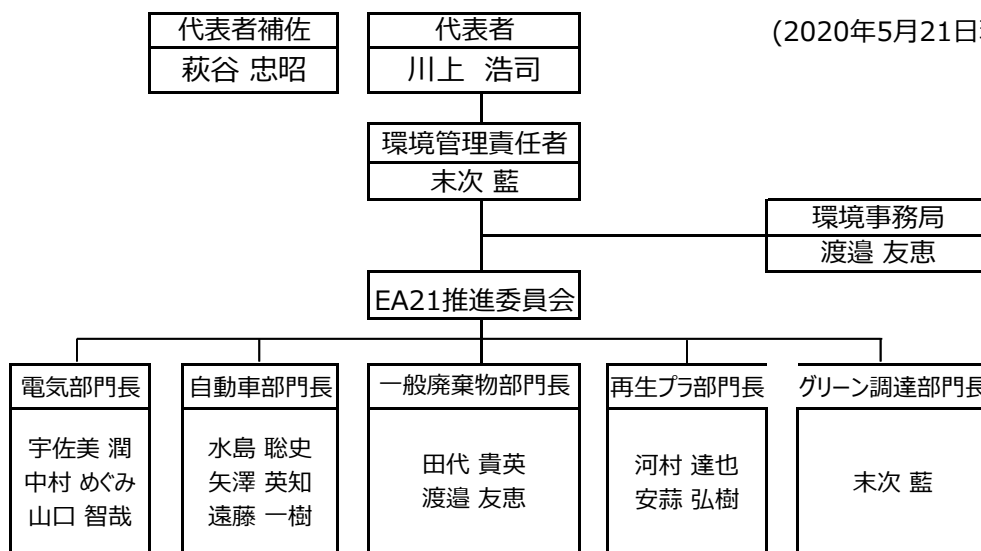
4. 環境経営システム組織図

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.



環境経営システム組織図

(2020年5月21日現在)



	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理し、代表者へ報告。 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認。 - 環境経営レポートの確認。 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 内部コミュニケーションの実施
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 - 環境活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門における環境経営方針の周知。 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の環境管理責任者に報告。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5. 環境負荷の年間実績推移

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.

1) 事業規模の推移

活動規模	単位	2018年	2019年	比較
生産量	kg	9.06	7.59	83.7%
売上高	百万円	442	448	101.4%
従業員	人	19	19	100.0%
床面積	m ²	480	480	100.0%

2) 環境負荷の実績推移

環境への負荷			単位	2017年	2018年	2019年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※		Kg-CO ₂	56,037	70,986	59,056
	購入電力 ※		Kg-CO ₂	47,133	64,035	51,692
	化石燃料		kg-CO ₂	8,904	6,951	7,364
② 廃棄物排出量	一般廃棄物		t	0.118	1.086	0.960
	産業廃棄物	最終処分(埋)	t	1.390	1.670	3.430
		再生利用	t	4.670	7.776	2.650
③-1 総排水量	公共用水域		m ³	0	0	0
	下水道		m ³	414	542	438
③-2 水使用量	上水		m ³	366	524	422
	工業用水		m ³	0	0	0
	地下水		m ³	48	18	16
⑤ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）		MJ	977,466	1,327,984	1,072,011
	化石燃料		MJ	132,628	103,652	109,618
	新エネルギー		MJ	0	0	0
	その他		MJ	0	0	0
⑥ 物質使用量	資源使用量		t	8.85	12.46	14.28
⑧ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等		t	4.47	7.18	7.59
	環境負荷低減に資する製品等		t	0	0	0
	容器包装使用量		t	0.43	1.05	0.42

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、環境省平成30年12月27日公表

東京電力エナジーパートナー(株) 調整後排出係数0.474(kg-CO₂/kWh)を使用

※小数点第二位より下は四捨五入にて管理

6.環境経営目標及び実績

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.

1) 中期環境経営目標

項目		基準年実績 2018年度	単位	2019年		2020年		2021年	
				目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減		70,986	kg-CO ₂	70,277	-1%	69,922	-1.5%	69,567	-2%
節電 100V		18,953	kWh	18,763	-1%	18,669	-1.5%	18,574	-2%
200V		116,142	kWh	114,981	-1%	114,400	1.5%	113,819	-2%
ガソリンの節減		1,762	ℓ	1,744	-1%	1,736	1.5%	1,727	-2%
軽油の節減		965	ℓ	956	-1%	951	1.5%	946	-2%
燃費向上	プリウスa	21.47	km/ ℓ	21.47	維持	21.47	維持	21.47	維持
	ハイエース	10.87	km/ ℓ	10.87	維持	10.87	維持	10.87	維持
	プリウスS	24.01	km/ ℓ	24.01	維持	24.01	維持	24.01	維持
コピー用紙使用量の節減		101	kg	99	-2%	98	-2.5%	98	-3%
節水		545	kg	545	維持	545	維持	545	維持
梱包資材使用量の節減		704	kg	690	-2%	687	-2.5%	683	-3%
一般廃棄物の節減		1087	kg	1,065	-2%	1,060	-2.5%	1,054	-3%
成形材料再生プラ排出量の削減		7,776	kg	7,776	維持	7,776	維持	7,776	維持
エコ製品の販売	断熱金型	4	型	4	—	4	—	4	—
	E.S.スブルーブッシュ	65	本	65	—	65	—	65	—

※「灯油の節減」は現在使用頻度が激減した為、管理項目より排除

2) 目標に対する実績

項目	2019年					2018年 対比
	目標値	単位	実績	増減率 (目標に対して)		
二酸化炭素の削減	70,277	kg-CO ₂	59,056	-19% ☺		-20%
節電 100V	18,763	kWh	18,567	-1% ☺		-2%
200V	114,981	kWh	90,488	-27% ☺		-28%
ガソリンの節減	1,744	ℓ	1,790	+3% ☹		+2%
軽油の節減	956	ℓ	1,069	+11% ☹		+10%
燃費向上	プリウスa	21.47	km/ℓ	21.72	+1.1% ☺	+1.1%
	ハイエース	10.87	km/ℓ	11.26	+3% ☺	+3%
	プリウスS	24.01	km/ℓ	23.08	-4% ☹	-4%
コピー用紙使用量の節減	99	kg	101	+2% ☹		+0%
節水	545	m ³	438	-24% ☺		-24%
梱包資材使用量の節減	690	kg	419	-64.7% ☺		-68%
一般廃棄物の節減	1065	kg	454	-135% ☺		-140%
成形材料再生ブラ排出量の削減	7,776	kg	2,650	-193% ☹		-193%
エコ製品の販売	断熱金型	4	型	5	-	-
	E.S.スブルーブッシュ	65	本	66	-	-

※「灯油の節減」は現在使用頻度が激減した為、管理項目より排除

7. 環境経営計画の取組結果と評価

1) 二酸化炭素排出量削減(節電)

方針		二酸化炭素排出量削減(節電)	
目標達成手段： 電気に対する勉強会の開催（年1回）：6月or10月開催 部屋に不在時、消灯の徹底 冷房と暖房の温度設定の徹底：検査室23℃±1、検査室以外 冷房27℃±1、暖房22℃±1 PC機器・照明の消し忘れの防止：PC消し忘れが多い人対象に明示を行う。照明に関しては、随時呼び掛けを行う。 年4回エアコンの室外機チェック			
達成状況／是正策 (実施責任者)		評価／指示 (環境管理責任者・代表者)	
3月	電気（100V）使用量は前年比7%減となっているが、二酸化炭素排出量目標は達成できていない状況 本社1階事務所電気の離席時消灯を習慣付ける為、第一成形室入口扉に電気マーク貼り付けを実施(3/25より) →3月EA21会議にて周知	消灯の明示、呼びかけの活動お疲れ様です。 繰り返し呼びかけることで段々と意識付けがなされるかと思いますので、継続した活動をお願いいたします。	
6月	昼休みの消灯の徹底を継続中です。梅雨で気温と湿度が上がってきますので、エアコンの温度設定の徹底をしています。 離席時にPCのモニターが付いている社員に対して、その場で指導致しました。 第一成形室入口扉に電気マーク貼り付けを実施した所、本社一階の消灯がこまめになされるようになってきたと感じます。(山口)	呼びかけだけでなく、実際の業務の中で指摘していただけますとより効果的に自覚いただけると思いますので引き続き活動の程宜しくをお願いいたします。	
9月	年間電気代の6%を占めるといわれる待機電力削減活動を行う(9月) 抜き差し厳禁プラグにはテプラ明示し、その他のプラグは帰宅時抜き取るよう全員に周知（田代）	社内の電源状況の把握にも繋がり、5S活動の一環にもなったように思えます。 呼びかけ後、社員も徹底して退社時の抜き取りを行う姿も確認できておりますので、素晴らしい意識付けの活動となったかと思います。	
12月	暖房設備の使用による消費電力増加に備え、回覧による電力削減の勉強会を行った。例年夏季と冬季は消費電力の使用が多いエアコンの使用が増えるため、毎時期簡易的な勉強会を行うことは効果的と考える（矢澤）	講義形式とはいきませんでしたが、社内資料回覧での勉強会実施ありがとうございました。 季節ごとに消費電力UPとなる要因は異なりますので、季節の変わり目などに合わせて勉強会を実施するとよいかもしれませんね。	
総括	数字上の比較では確かに削減度合いを測るのは難しいかもしれませんが、総括通り1か所にまとめて業務を行うのは省エネに繋がるかと思います。次年度も細やかな節電・CO2削減活動に期待しております。		

2) 二酸化炭素排出量削減(燃料)

方針 二酸化炭素排出量削減(燃料)		
自動車燃費向上手段		
①エコドライブの習得：代表者および希望者が外部講習を受け、その内容を社内へ持ち帰り講習会を行う。(年1回) 習得後年間20～30%の燃費向上効果。(ハイブリッド車専用の操作方法) 船橋第一自動車教習所or津田沼自動車教習所にて講習可能。@10,300-(税込)(繁忙期除く) エコドライブ知識習得確認の為、車輛運転者に対し小テストを実施する。(年2回) 成績次第では講習費 ②車輛のメンテナンス：タイヤの空気圧チェック(年4回/3月・6月・9月・12月) タイヤ交換(年2回)・・・低燃費タイヤに切り替え。空気圧を高めに260～280pa設定。(社内で交換する事を快調) 夏場のサンシェード、冬場の霜よけシートの導入・活用呼びかけ バッテリーの劣化具合、カーボン堆積、エアフィルターの汚れ等、燃費に関わる箇所のメンテナンスを重点的に行う。 ③エコカーへの切り替え：車輛変更のタイミングで検討。新型プリウス39.00km ④自動車燃費の把握：毎月末、各車輛の燃費計算を行い、1か月の燃費を把握する。また、増減要因の調査を行う。 ⑤断熱フィルムの導入を計画。(劣化時は車検に通らなくなる恐れ) ⑥最終活動目的達成の為、車以外の交通手段を用いる事の検討。		
		
達成状況／是正策 (実施責任者)	評価／指示 (環境管理責任者・代表者)	
3月	Sにおいて経年の影響もあるかと思いますが、前年に比べ燃費の悪化傾向が見られますので、遮熱フィルムによる車内温度の上昇対策の検討を優先して行い、燃費向上を目標に活動を続けます。	遮熱フィルム導入については今まで上がってこなかった案件ですので、ぜひ前向きに検討をすすめてください。
6月	エアコンのオフ、スタッドレスからノーマルタイヤへの交換、サンシェードの取り付けと各運転手の方が取り組んでいたためで平均燃費を下回らず来ています。Sが7月極端に燃費が上がったので、来月も続くか確認致します。また、ハイエースが	運転者が各自意識をもって取り組んでいただけているのは素晴らしい活動の成果ですね。 計上誤差による2～3km程のズレは稀に発生することもありますので、引き続き来月も経過観察をお願いいたします。
9月	7月はガソリンの使用量が増えてますが目標燃費は超えてますが8月に目標燃費を下回っています。エアコンの使用が原因かと思われます。夏場の対策を検討していきます。	夏場は燃費下降の傾向がありますが、引き続き呼びかけやサンシェードの徹底、新規対策で可能な限りの対策をお願いいたします。
12月	平均燃費は目標値をほぼ達成できているため今後も運転者にエコドライブへの呼びかけを継続して行っていく。	12か月中8か月が2台以上燃費目標達成となっており、かなりの好成績かと思われます。次年度も引き続き宜しくお願い申し上げます。
総括	1月度でまた新たなメンバーになりますので、業務の引き継ぎなどはしっかりとお願いしたいと思います。また締め日が毎月変わってしまうので難しいとは思いますが、毎月10日までを目安に月々の燃費実績を計上いただけますと助かります。宜しくお願い申し上げます。	

3) 再生プラ量削減

方針 再生プラ量削減		
①色替え・洗浄方法の周知徹底：色替え方法・洗浄方法を文書マニュアル化する。変更項目があればその都度更新する。また年1回はその内容を見直す。 成形担当者への周知確認の為、各作業工程の手順チェックを行う（年2回） ②効果的な洗浄剤の導入：パージ量の少ないより効果的な洗浄剤の検索を行い、積極的に導入する。（随時） ③廃材仕分け管理：可能な限り多くの廃材を再生プラスチックにできるよう、各材料名を仕分け・明示する。再生プラの種類は年1回見直しを行う。 また毎月末（廃材が満杯の場合は廃棄持込み後のタイミングで）置き場の整理整頓を実施する。 ④雑プラ削減運動：再生プラパージのみで次の製品が成形出来る様に、スケジュールを組む。 （例：現POM白製品から次POM黒製品の場合、POMのみのパージで済む。これを一回とカウント。 POMのパージ団子として分別し“再生プラ”として取り扱いをする。） ⑤ 再生プラ削減運動：成形数終了間際に材料調整をし、材料切れまで成形を行う（無駄なパージをしない）		
達成状況／是正策 （実施責任者）		評価／指示 （環境管理責任者・代表者）
3月	新規パージ材（エコ丸）を導入いたしました。成形機別使用量も取り決めました。これにより、無駄なパージ材使用が抑えられることが期待されます。今後も注視してまいります。	新規パージ材の検討ありがとうございました。今後の実績に繋がることに期待します。 使用量を取り決めたことにより、誰が作業しても同じ消費量に抑えられるだけでなく、品質維持にもつながるかと思います。 ぜひ取り決めた内容を周知して継続して取り組んでください。
6月	リサイクル 2 1 が引き取り不可となったため、代わりとなる業者の模索中まだ代わりとなることは見つからず問合せ中となります。	年々引取り可能業者が減少しており、希望条件での回収業者を探し出すのは難しいかと思いますが、引き続き問い合わせの程をお願いいたします。
9月	廃プラ処理行い、材料が粉碎した物であればリサイクル21で無料引き取りいただけることとなりました。できる限り粉碎を行い今後廃プラに関して粉碎が掃除用具横の倉庫、その他が雑プラ扱いとして成形室側の倉庫に保管となります。	リサイクル 2 1 との交渉ありがとうございました。今後の為引き続き回収業者は検索しておいた方が良いかと思しますので、ぜひ継続して検討してください。
12月	出来るだけ粉碎再利用を行い排出量を削減致します。	継続しての取り組みをお願いいたします。
総括	昨今の時世柄、再生材の無料引取りはおろか有料であっても引取り不可な業者が増えてきているため、選定が難しくなっているかと思いますが、可能な限り検討をお願いいたします。	

4) 廃棄物排出量削減

方針		廃棄物排出量削減	
一般廃棄物削減目標説明			
目標達成手段			
①コピー用紙 使用量削減		①購入コピー用紙の再検索（森林承認・グリーン購入品適合と価格検討） ②集約コピー・両面印刷の周知 ③書類整理による裏紙量UP	
②廃棄物の削減		①シュレッターゴミを梱包材にしての再利用 ②ゴミ分別徹底の意識付け	
達成状況／是正策 （実施責任者）		評価／指示 （環境管理責任者・代表者）	
3月	コピー用紙：使用量については×の評価が続いている、今後、集約コピーや裏紙での印刷を再度社内に周知していく。 また、裏紙の量が不足してきているため、裏紙収集の呼びかけを4月に呼びかける。 廃棄物：廃棄量はおおむね良好な数値は続いている。今後も廃棄量に注視し、量が増えた際は、分析を行っていく。	決算から半年が経過し、裏紙も不足してくる時期かと思われます。社内への裏紙排出の呼びかけの程お願いいたします。	
6月	コピー用紙：使用量削減については評価が×である。最近は裏紙が不足ぎみであり、使用していない資料からの裏紙提供を呼びかけていきたい。 A4コピー用紙については従来のグリーン適合品よりも1冊あたり21.2円安価のグリーン適合品に切り替えた。今後もグリーン適合品を意識しつつ、コピー用紙のコストダウンを図っていきたい。 廃棄物：資源ゴミの量については、3月から引き続き良好な数字を出している。5月、6月と斎藤栄治商店に依頼して古紙、ダンボール、シュレッダーのリサイクル回収を行っており、環境面への配慮も進んでいる。エコアクションへの資料として、斎藤栄治商店にリサイクル証明の提供を依頼する。	古紙、段ボール類は勿論、特に今まで可燃ごみとして排出していたシュレッダーごみが資源ごみとして回収されるようになったのは非常に大きな成果ですね。 またコピー用紙の切替も検討・実行いただきありがとうございます。グリーン調達品の中から選出いただき素晴らしい取り組みです。今後とも宜しくお願い申し上げます。	
9月	コピー用紙：裏紙排出の呼びかけを行った。 廃棄物：ゴミの分別の再指導を行った。 シュレッダーゴミを10月から資源ごみにカウントするよう変更した。 斎藤英次商店にてリサイクル証明書をもらえるようにした。	証明書の取得ありがとうございます。 また分別や裏紙排出の継続した呼びかけは効果的ですので、引き続き宜しくお願い申し上げます。	
12月	コピー用紙：A4とA3の用紙を従来よりも安価な品（グリーン調達適合済み）に切り替えることで、コスト面と環境面の両方に配慮することができた。 廃棄物：12月にゴミの分別について資料回覧による勉強会を行った。 PPバンドの分別について、社員の認識に相違があったため、再度分別の指導を行った。	資料回覧ありがとうございました。ごみ分別などで効果的な情報がございましたら、ぜひ次年度も勉強会の開催（今回は講義形式でできるとより◎）を計画してください。 PPバンドはよく間違えられやすいので、社内・部署内で情報の引き継ぎができるのが望ましいですが、手の回りきらないところはぜひ一般廃棄物チームがサポートしてください。宜しくお願い申し上げます。	
総括	実績に繋がる数々の新規取り組みお疲れさまでした。 特に斎藤英次商店での回収は月末必須な活動となりお手数をおかけしますが、おかげさまでロイアルの環境意識向上に貢献できていると思います。次年度も今年の活動内容を引き継ぎ、また新たな取り組みにチャレンジされることを期待いたします。		

5) 水道水の削減

方針	節水
水道水削減目標説明	
※2015年度より経過観察項目の為特記無し	

6) グリーン調達 ※2017年度版ガイドラインより要求項目外だが継続して取り組む

方針	グリーン調達
グリーン調達目標説明：年間10件の新規グリーン調達を目標	
目標達成手段： ・導入状況調査：対象品目がグリーン適合品に切り替えられているか「グリーン調達品チェックリスト」を元に調査する（月1回/最低1品目以上） ・グリーン購入品検索：前述の「導入状況調査」で未実施だった品目に対して、代替品となるグリーン調達品があるのか検索を行う。検索の結果、該当するものがあれば「グリーン調達品リストアップ」に更新していき、購入担当者（庶務課）にフィードバックする。 ・月末報告：当月分の新規グリーン購入品の購入数を計上する（毎月末実施） ・顧客先要求グリーン調達調査：グリーン調達を要求される顧客先への窓口対応（担当項目は営業担当と打ち合わせの上決定）	
評価／指示 （環境管理責任者・代表者）	
総括	グリーン調達チームの立ち位置が曖昧な1年となってしまったので、会社が求めるグリーン調達チームの在り方の把握、また我々としても各部署にどのように貢献できるのかを考え、実行できる次年度の活動内容としたい。
総括	必須項目では無くなりましたが、今一度社内への呼びかけを実施してください。 他部署でグリーン調達やケムシェルバ調査を行っており、予定していたグリーン調達チームの活動内容と則わない面も出ております為、関連部署としっかりすり合わせを行い、次年度の活動方針を定めてください。

7) 環境配慮の製品の提案

方針	環境配慮の製品の提案
目標達成手段：※2019年度よりEA21管理項目から削除 環境配慮製品（E.S.スプルーブッシュ）の製造・販売は継続して取り組み中。	
【環境配慮製品－断熱金型・E.S.スプルーブッシュー】 プラスチック成形では生産効率を向上させる為、機械による金型の急温・急冷を行うことがありますが、通常成形以上のエネルギーを消費する事が環境配慮の点で問題となっております。 また製品までの流路部（ランナー）の廃棄量削減もまた課題として挙げられます。 弊社の「断熱金型」「E.S.スプルーブッシュ」（成形時に用いる部品）はこれらの問題を解決。 樹脂の熱量だけを利用して高品質成形が可能で、ムダなエネルギー消費がなく、またランナー部をスリム化しての成形も実現いたします。 この製品技術が環境に寄与できるものと考え、弊社といたしましては「環境配慮製品」と定め、提案・普及活動を行う	



8. 次年度の取組内容

次年度は本年度の活動内容を引き続き継続する他、以下に注力した活動を展開する。

- *廃プラ引取り業者の選定、再生プラへの循環比率向上
- *エコカー・エコタイヤの導入（車両切り替え時期にあわせ実施／継続）
- *新電力への切り替え検討



9. 環境関連法規等遵守状況

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

関連法規

法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）
	消防法
	フロン排出抑制法
条例	我孫子市廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例
	我孫子市環境条例
	我孫子市火災予防条例
	我孫子市下水道条例



10. 代表者による評価及び見直し

社内全体で取り組んでこそそのEA21活動ですので、積極的な声出し・システムづくりをお願いします。



認証番号0005780

この環境活動レポートは、ご希望があれば差し上げています
ご希望の方は下記事務所窓口までお申し出ください
なお、エコアクション21中央事務局のHPでもご覧になれます
(<http://www.ea21.jp/>)

ロイアルエンジニアリング株式会社

〒270-1143
千葉県我孫子市天王台3-3-5
TEL 04-7183-6100
FAX 04-7183-4415